

主 な 内 容

皆さんの声を議会へ
(一般質問)……………2～5

決算審査特別委員会
審査報告……………6～8

主な議決結果……………9

インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか……………10

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！

マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



令和4年度一般会計など決算7件を審査・認定

第3回市議会定例会が9月1日から13日までの13日の会期で開かれ、前田市長から令和4年度各会計決算に係る決算大綱説明が行われました。

令和5年度一般会計補正予算など市長提出議案5件がいずれも可決されたほか、市政について13人の議員による一般質問が行われました。



▲滝川市スマート水田実証プロジェクト
北海道滝川工業高等学校と連携した自動給水栓防護施設開発

一般会計補正予算の主な内容

生活困窮者自立支援事業
1,010千円
三世代交流センターの運営管理
2,371千円
令和3年度及び令和4年度国庫補助金等の事業費確定に伴う返還
91,533千円

【令和4年度決算の内容】

一般会計・特別会計		決算額	執行率
一般会計		229億2321万円	94.7%
特別会計	国民健康保険特別会計	45億6645万円	98.6%
	公営住宅事業特別会計	5億881万円	79.1%
	介護保険特別会計	35億4725万円	86.9%
	後期高齢者医療特別会計	6億8418万円	97.0%
	小計	93億669万円	

企業会計		予算額	執行率
下水道事業	収入計	18億6407万円	92.1%
	支出計	22億4075万円	91.4%
病院事業	収入計	85億1824万円	112.2%
	支出計	78億4916万円	97.0%

皆さんの声を議会へ

当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、13名の議員が質問しました。その一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
柴田 文男 (21フォーラム)	公共施設の活用 学校施設の活用 冷却用品の災害常備品への追加と公共施設への配置
三上 裕久 (公明党)	*二元代表制 市内バス路線の存続と今後 企業版ふるさと納税 駅前再整備 市民の 物価高対策 コミュニティセンターの運営 带状疱疹ワクチン接種の助成 英語検定試験 の助成 市立学校へのエアコンの設置 新テニスコートの使用料
安樂 良幸 (新政会)	災害時における市民への通報手段 防災倉庫の新設 住宅新築・改修促進事業の継続 滝 の川運動公園の整備 美術自然史館の空調設備の修繕
高橋江海子 (れいわ新選組)	不法投棄禁止条例の制定 喫煙所の設置 L G B Tへの理解の促進 子ども達の心身の健 康と安心、学習環境を守ること
山口 清悦 (新政会)	遊具の更新
関藤 龍也 (市民ネットワーク)	高齢者の居場所づくり 学校給食費 市立学校の空調設備の整備 移動投票所の設置
福井 雅章 (新政会)	ふるさと納税専任窓口設置 市立病院の人材確保 一般財団法人滝川生涯学習振興会に対す る補助金
木下八重子 (市民ネットワーク)	ふるさと納税の使途
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	害獣対策 空き家対策 市内事業者支援策 スポーツ関連施設
荒木 文一 (市民ネットワーク)	滝川市DX推進計画 リサイクル推進 街路樹の管理 学校給食 給食費の未納
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	ふるさと納税の返礼品
寄谷 猛男 (日本共産党)	自衛隊への名簿提供にかかる除外申請 名簿提供の公表 総合的な防災訓練の実施 困難 な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行 国保税の子どもの均等割額の軽減措置
田村 勇 (新政会)	駅周辺整備 新文化センターの建設 滝川ふれ愛の里の経営 道路占用許可 市道の除 排雪

※「二元代表制」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

第3回定例会 一般質問から

学校冷房設備の整備 と公共施設の活用



柴田 文男 (21フォーラム)



問 この夏の猛暑はまさに災害級であり、早急な対応が必要である。子どもたちの命を守るため、冷房設備を市内小中学校全ての教室、体育館、職員室に来夏までに整備するべきだと考える。また、公共施設へも冷房設備を設置し、高齢者や体調不良者の避難場所として活用するとともに、併せて災害常備品として経口補水液や冷却用品を学校を含む公共施設に配置すべきと思うが、市の考えを伺う。

答 全ての学校施設への冷房設備の設置実現には様々な問題が想定されますが最大限の努力をしながら準備を整えたいと考えます。公共施設への冷房設備の設置につきましては、まずは、効率的な導入計画を検討する必要があると考えます。冷却用品等につきましては、すでに配置済みとなっています。

带状疱疹ワクチン 接種助成について



三上 裕久 (公明党)



問 50歳以上の市民を対象に带状疱疹ワクチン接種の助成を行うべきと考えるが見解を伺う。

答 対象人数が、2万人以上となり、残念ながら費用助成のための予算確保の目途が立たないことから、現時点での実施は困難であると考えています。現在、全道市長会を通じ、国や北海道などに対し、带状疱疹ワクチンの定期予防接種化及び財源措置を求めているところですので、引き続き、国や北海道の動向を注視していきます。

問 物価高騰に対する市民への支援策について今冬においても必要と考えるが、市長の考えを伺う。

答 市民税非課税世帯への3万円給付や全世帯への生活応援クーポンの配布など様々な支援策を開始しており、今冬を含めた生活に役立てていただきたいと考えています。

美術自然史館の空調 設備修繕について



安楽 良幸 (新政会)



問 美術自然史館の空調設備は数年前から故障しており、近年の猛暑により館内の室温が上昇し、市民からも修繕の要望があがっている。また、本施設には本市を代表する画家である岩橋英遠氏の作品が収蔵されており、湿度管理など特段の配慮が必要であると考え。利用者の健康管理と収蔵品の良好な維持・保管のために早急な対応が必要だと思うが、市の見解を伺う。

答 空調設備の故障により館内における適切な温度管理ができていないことから、利用者へのご負担や収蔵されている作品への影響も心配される状況となっています。空調設備の修繕については、まずは学校施設の老朽化解消を最優先で考えていますが、公共施設、美術自然史館についても並行して検討していきます。

子ども達の心身を守る ことについて



高橋 江海子 (れいわ新選組)



問 突然の生理によるトラブルは子ども達にはストレスで、周りに察知されることも苦痛である。トイレの個室に生理用品を配置すべきと思うが、どのように考えるか。

答 滝川西高校と市内中学校1校で試験的に導入しはじめました。これを踏まえ今後も各学校と協議し検討していきます。

問 生理痛は時に何らかの治療が必要になるものがあるが、小中学生は知識が乏しく市販薬で我慢することが常態化している。全ての児童生徒に理解を促し、トイレ内掲示物での啓発も必要と思うが、どのように考えるか。

答 現在は学習指導要領に準じ指導をしつつ、個人への対応も行っています。国からもさらなる環境整備に努めるよう通知が発出されているため慎重に協議していきます。

遊具の更新について



山口 清悦 (新政会)



問 市内保育所の遊具等が長期間使用不能になっている旨の問い合わせがきている。危険遊具に認定しているための緊急措置だと思うが、市内保育所にある遊具について更新計画をどのように立てて実施しているのかを伺う。

答 保育所の遊具については、更新計画は立てておらず、定期的に安全点検を行った上で子どもたちが安心して遊べるか検討して使用しています。ご指摘のありました使用不能な遊具は、滝川中央保育所の滑り台のことかと思われますが、昨年より安全を考慮し使用禁止としています。なお、市内業者のご厚意により、今年の9月に中央保育所の全ての遊具について修繕及びメンテナンスを行っていただく予定となっています。

*移動投票所の 設置について



関藤 龍也 (市民ネットワーク)



問 全国的に移動投票所を設置する自治体が増えているが、設置する場合の経費、さらにメリットとデメリットについて伺う。

答 経費としては、立会人等への報酬のほか、車両等のレンタル料、記載台等の備品購入費、燃料費等々が見込まれます。移動投票所設置のメリットとしては、移動手段の確保が難しい有権者にとって投票機会が確保される一方、デメリットとして、投票管理者や立会人の確保、投票用紙の保管や管理等が課題としてあげられます。

問 学校給食費の無償化に向けた国の動向について伺う。

答 文部科学省が全国的な実態調査を行い、課題について整理を進めている最中であると認識しています。引き続き国の動向の把握に努めていきます。

第3回定例会 一般質問から

市立病院の人材確保について



福井 雅章（新政会）



問 少子高齢化の進行と人口減少に伴い、現役世代の医療従事者の急減と担い手不足により、人材の争奪戦が顕在化している。全職員を対象に処遇改善の観点と人材確保の先行投資の意味で給与の増額が必要と考えるが、見解を伺う。

答 人材確保は重要な課題と認識していますが、修学資金貸付制度が好評であり、今後も安定した新卒者の採用が見込める状況となっています。給与については国より初任給基準を高く設定しているほか、国の処遇改善制度を利用して手当も支給しています。給与の増額は、市役所との均衡や経営への影響を考え慎重な対応が必要だと考えます。処遇改善については、働きやすい職場になるように業務の負担軽減などに努めるなど有効な方法を考えて対応していきます。

ふるさと納税の使途について



木下八重子（市民ネットワーク）



問 市のふるさと納税の使途については、様々な項目があるが、駅前再開発にかかる費用について、ふるさと納税の寄付金を充てるために、新たな項目として追加することも選択肢の一つだと考えられるが、市長の考えを伺う。

答 本市のふるさと納税における寄付目的は、まち全般に使えるもの、子どもたちのためのまちづくり、魅力あふれるまちづくり、國學院大學北海道短期大学部の教育振興、市立病院の医療環境の充実の5項目としています。駅周辺整備事業には、まち全般に使えるものや、魅力あふれるまちづくりの項目にいただいたご寄付を充てるのが可能なことから、今のところ、現状の5項目で運用させていただきたいと考えています。

空家対策について



藤田 哲也（市民ネットワーク）



問 空き家に起因した被害に対する補助金などの支援や発生を未然に防ぐ対策を検討しているのかを伺う。

答 補助金などによる支援は検討していませんが、空き家の危険性などについて相談が寄せられた際には、現地を確認し、所有者へ対応を要請するとともに、管理方法について助言を行います。また、滝川市住宅改修促進事業等を活用し、空き家の発生を未然に防ぐ対策を行っています。

問 市内で新たに起業したい方を対象に起業支援の拡充を検討するべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 相談内容に応じて、適切な補助制度を紹介するなどの対応を行っています。また、創業に必要な知識やノウハウを習得するセミナーを継続的に開催し、学びの機会の拡充を図っています。

街路樹の管理について



荒木 文一（市民ネットワーク）



問 交差点での見えづらさなどから、街路樹を減らしてほしいとの市民要望について見解を伺う。

答 工夫を凝らしながら管理に努めていますが、対策に向けた検討が早急に必要だと考えています。

問 リサイクル回収にプラスチック製品を含まない理由について伺う。

答 プラスチックごみは、*サマールリサイクルを行うため、焼却の品目に定められています。近年、プラスチックごみの分別回収と適正な処理が求められていますが、実現には、中間処理施設の整備や収集システムの構築など多面的な検討を行っていく必要があります。

問 国による給食費無償化が実現した場合、未納となっている債権債務はそのまま残るのかを伺う。

答 未納分については、納入者の債務として残ることとなります。

ふるさと納税の返礼品について



荻野 仁史（市民ネットワーク）



問 アフターコロナとはいえ、コロナ前の売り上げには至っていない飲食店が多数存在している。疲弊した飲食店を応援する観点から市内の飲食店で利用できる商品券等をふるさと納税の返礼品に加えることについて考えを伺う。

答 総務省が定める基準に適合したメニューを提供できる飲食店が発行した商品券であれば、返礼品として扱うことは可能です。

問 ふるさと納税とクラウドファンディングを掛け合わせた*ガバメントクラウドファンディングの導入予定について伺う。

答 ふるさと納税の寄付項目の使途が、行政全般に幅広く対応できることから、今のところガバメントクラウドファンディングは想定してはいませんが、有効なプロジェクトがあれば都度検討します。

名簿提供にかかる除外申請について



寄谷 猛男（日本共産党）



問 自衛隊へ個人情報提供されることを望まない場合に、名簿から自らの情報を除外する申請ができる制度を実施している自治体が増えている。本市もこれらに倣い除外申請を実施するべきだと考えるが市の見解を伺う。

答 自衛隊への個人情報の提供については、国からの法定受託事務であり、個人情報保護法の規定上、情報提供を望まない方を提供対象から除くような措置はありません。個人情報の取り扱いや保護については、より慎重・厳格に取り進めなければなりませんが、法令に規定されていない特別な手続きをとることについては十分に検証する必要があります。除外申請制度の実施については、他自治体の動向等を参考にしながら検討していきたいと考えています。

新文化センターの建設について



田村 勇（新国会）



問 新文化センターの詳細についていつ頃明示されるのかを伺う。

答 滝川市公共施設個別施設計画前期計画において、本年度中に内容を示すこととなっており、アンケート結果や各種調査を踏まえ検討を進めているところです。

問 株式会社ドーコンに委託している滝川駅周辺地区再生調査検討業務の進捗について伺う。

答 地区の現状や課題の洗い出し、想定される整備パターンの基礎検討、導入機能の検討も兼ねた市内公共施設の現地調査を実施し、将来ビジョンや整備パターンの原案を整理している状況です。

問 北のたまゆら撤退後の滝川ふれ愛の里の経営状況について伺う。

答 4月以降も切れ目ない運営を行い、5月以降は昨年を上回る集客実績となっています。

令和5年度 総務文教常任委員会行政視察

滝川市議会では、先進的な取り組みをしている自治体のまちづくりの施策やアイデアを調査する行政視察を実施しています。今回は、新潟県長岡市を訪問し、先進的な取り組みとして全国から注目されている子どもたちへの防災教育や中心市街地活性化事業、全国初の官民一体型複合施設について、その推進施策や実施・運営方法等について学びました。なお、視察結果は、今後の滝川市の防災施策や駅周辺整備施策に活かしていきます。

視察期間

・令和5年10月10日(火)～11日(水)

視察目的

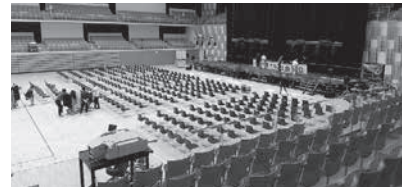
・防災教育、中心市街地活性化、複合型施設

視察先

・長岡市役所、ア・オーレ長岡
・長岡震災アーカイブセンターきおくみらい



▲長岡震災アーカイブセンター
きおくみらい



▲ア・オーレ長岡アリーナ

Topics

議会活動の紹介

滝川市議会では、市民の皆さんや地域の声を吸い上げることに力を入れており、関係機関への要望書の提出や意見交換会を行っています。

気温上昇に伴う市立学校における教育環境および学童保育施設の環境整備に関する要望書を提出!!

8月28日(月)、総務文教常任委員会と厚生常任委員会は、今夏の記録的な猛暑を踏まえ、子どもたちの命を守り、学習環境を整えることを目的として、市立学校および学童保育施設へのエアコン設置と熱中症予防対策強化を求める要望書を前田市長と田中教育長へ提出しました。



▲前田市長に要望書を手渡す安樂良幸総務文教常任委員長と木下八重子厚生常任委員長

道立高校における冷房設備の整備に関する要望書を鈴木北海道知事と倉本北海道教育長に提出!!

9月29日(金)、山本正信議長が北海道教育委員会を訪問し、市内道立高校の授業で使用する全ての教室及び体育館並びに教職員の執務室に冷房設備を設置するよう要望書を提出しました。



▲左から水口道議、山本議長、倉本教育長

総務文教常任委員会と滝川市PTA連合会による意見交換会を開催!!

9月25日(月)、空知北学区の現況について学び、高校の果たす役割や今後の在り方について話し合う意見交換会を開催しました。



第3回 定例会

決算審査特別委員会審査報告

一般会計など全決算を“認定”

本定例会では、第1および第2決算審査特別委員会を設置し、9月6日から7日まで各委員会を開催し、令和4年度の一般会計1件ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

ふるさと納税

問 令和4年度に新たに加わったふるさと納税返礼品はあるのかを伺う。

答 令和4年度返礼品は72種類を新しく追加しています。事業所にも声をかけさせていただき、返礼品の拡大を図っているところです。

特定空家

問 特定空家の調査方法について伺う。

答 市民の方からの相談が寄せられた際に現地確認を行い、その後解決に至っていない特定空家等については、夏、秋口の台風等の被害、または冬期間の積雪等の被害が想定される前に巡回を行い、チェックシートに基づき、空家の状態を確認し評価を行っています。

陥没調査

問 道路の陥没調査について令和4年度は行ったのかを伺う。

答 滝川市として過去に行っていた経緯はあるが、それ以降は道路事業として実施はしていません。陥没の原因となる主なものは埋設管の損傷によるものが多いと思われるため、下水道事業としてのカメラ調査等を実施し、その際、老朽管が見つかった場合は補修等を行っています。

丸加高原伝習館

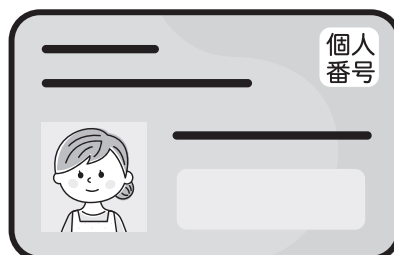
問 丸加高原伝習館は今後活用する予定はないのかを伺う。

答 今後の活用に関しては、現在検討中となっています。方針としては、今までのように施設に頼った丸加高原の姿ではなく、今後は、自然そのものを活かしていきたいと考えているため、伝習館については今後廃止する方向で考えています。

マイナンバーカード

問 マイナンバーカード取得率アップに向けた主な取り組み、マイナポイントの付与に関して滝川市独自に行ったものは何があるかを伺う。

答 取り組みについては昨年度と同様に、個人宅への出張申請等を積み重ねていき、交付率を上昇させるよう取り組んでいます。また、マイナポイントに関わる滝川市独自の取り組みとしては、3月以降申請された方に対して、ゆめぴりか2kgと特製のエコバッグをお渡ししています。





元気な農業づくり

問 元気な農業づくり事業補助金について、特徴的な事業があるかを伺う。

答 本補助金は、地域の様々な課題に対応したメニューで補助金を交付するものです。特徴的な事業としては、スマート農業の導入に対する支援として、トラクターの自動操舵システム、ドローンなどといったICT技術の導入支援を継続的に行っています。

不登校児童対応

問 不登校児童の対応について、基本的には教育支援センターにある適応指導教室ふれあいルームで学習支援を受けていると思うが、その他に該当する対応はあるかを伺う。

答 担任以外にも学びサポーター、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーが対応しています。学校では、学習ルーム・相談室・保健室等でなかなか教室に入ることができない子ども達の対応を行っており、オンラインで授業を受けることができるようになっています。また、学校に来ることができない子ども達についても各家庭からオンラインで学校とつながることが可能となっています。

市立病院ベッド稼働率

問 コロナ患者を除く入院のベッド稼働率の実績と安定的な入院ベッド稼働率を伺う。

答 全体で56.53%、コロナの入院患者を除くと55.4%の稼働率です。安定的な経営を行うために必要な入院ベッド稼働率に関しては、80%程度と考えています。なお、令和4年度の稼働率は一般病床86.21%、地域包括ケア79.45%、精神病棟47.83%となっています。

介護認定

問 介護認定審査会の認定該当数が大幅に増加した要因を伺う。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から4年度において、認定調査の実施が困難な場合は認定調査を行わず、従前の介護度の有効期間を最大1年間延長することを可能とする臨時的な措置がとられました。措置の件数は令和3年度は370件でしたが、令和4年度はコロナ禍が収まりつつあったことから165件に減少しました。この減少分が審査会の認定該当数の増加の主な要因であり、介護認定審査会と期間延長分を合計した認定該当数は、令和3年度の1,972人から令和4年度は2,047人と75人増加しています。



健康なまちづくり推進事業

問 健康なまちづくり推進事業の内容について伺う。

答 主な事業としては、被保険者の健康意識を高めてもらうことなどを目的とした医療費通知を年6回発送しています。ほかには、助成を行い検診を受けやすくすることで、早期発見、治療を行うことを目的とした、がん検診助成事業、脳ドック助成事業（特定検診とセット受診）、65歳以上の方を対象にインフルエンザワクチン、肺炎球菌予防接種事業を行っています。

後期高齢者医療保険制度

問 後期高齢者医療保険制度の被保険者数の年齢割合を伺う。

答 令和4年度末で65歳～74歳までの人数については165人、75歳以上が7,325人、合計7,490人であり、65歳～74歳までの割合については2.2%となっています。

決算審査特別委員会 における各会派討論

◎市民ネットワーク

一般会計については、ふるさと納税の推進、経費削減に努められ約11億円の黒字となったが、老朽化した公共施設の再編に伴う除却など課題は山積している。財源確保策も含めた対応、自主財源の柱となっているふるさと納税における返礼品に関する規制強化が行われることから、情報収集を望む。

下水道事業は経営状況は安定的な資金運営となっているが、人口減少が続く中、下水道管の更新が必要となってくるため、更新に伴う財源確保と安定的な経営を求める。病院事業会計は、良質な医療体制が提供できるよう努めるとともに、全国の自治体病院が抱えている経営の合理化・効率化に努めていただきたい。

◎新政会

歳入では、昨年と比べふるさと納税が増収したものの、新型コロナウイルス感染症が5類になり特別給付金が期待できないため、一層の注意を払って財源確保に努めていただきたい。歳出では、財政健全化を目標にし、事務事業の見直しや効率化を図ることは大事だが、住民福祉の充実や生活安定に有効な施策を考え、実行していただきたい。

下水道事業会計は、使用料の減少、収益減、設備の老朽化等課題は多いが、市民への負担転嫁にならないように努力してい

ただきたい。病院事業は、医師・看護師の確保、認知症患者が増えていることを考慮し、さらなる地域包括ケア、収納率の向上とともに健全経営、疾病予防医療の充実に努めていただきたい。

◎公明党

令和4年度は市民生活支援策として、住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業、電力等価格高騰緊急支援給付金事業、新型コロナウイルス感染症等対応地方創生臨時交付金を活用し、市民生活の窮状に寄り添った事業を行ってきたが、「第2期財政健全化計画」に基づき、事務作業の見直し等で、一般会計では11億6,847万円の剰余を生んだことを高く評価している。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、経済活動も徐々に回復している中、滝川市にとっても令和5年度から6年度にかけては将来を決定づける年になると考えており、理事者、職員とともに議会も覚悟をもって臨む年としなければならない。

◎れいわ新選組

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症等対応地方創生臨時交付金などを財源に、市立病院の財政が8年ぶりに健全化へ転じた。コロナ感染症の感染拡大による検診受診割合が低下する中、当市は全道7位と努力されており評価する。特定健康診

査の受診率向上と予防啓発を行い、さらなる健康増進に努めていただきたい。公営住宅・水道事業は、経費削減や節約を工夫し、計画的な財源確保と下水道整備及び維持管理に励み、安定した経営に尽力していただきたい。病院事業は、安定した病院経営、継続した募集・採用及び離職防止対策の実施を進め、柔軟な財政対応と市民サービス向上に尽力していただきたい。

◎21フォーラム

令和4年度は顧みれば正にコロナ感染が拡大し未曾有の被害が拡大した年であり、今後においても様々な態様の災害に見舞われる事態も予想される。令和4年度を教訓として、職員一丸となって市民の生命、財産を守られるよう努力を願う。

◎日本共産党

本決算年度は、文化・スポーツ活動支援として市民交流プラザがオープンし、滝の川運動公園テニスコートの運用、物価やエネルギー価格高騰の影響を受けている子育て世帯・非課税世帯に対する支援金給付事業など住民の暮らしや地域経済を支える取り組みが行われたことを評価する。

しかし、少子高齢化や人口減が進行し、交通手段や除排雪等、日々新たな問題が生じている。それらに迅速・適切に対応すべく、策定されたまちづくり計画や高齢者保健福祉計画、障がい者計画などに基づき、住みやすいまちづくりに努めていただきたい。

令和5年第3回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	令和4年度決算に係る健全化判断比率について	報 告 済
報告第2号	令和4年度決算に係る資金不足比率について	報 告 済
報告第3号	専決処分について（訴えの提起） 学校給食費の支払いの請求に関する訴えの提起	報 告 済
報告第4号	株式会社滝川振興公社の経営状況について	報 告 済
報告第5号	監査報告について	報 告 済
報告第6号	例月現金出納検査報告について	報 告 済
議案第1号	令和5年度滝川市一般会計補正予算（第6号） 西町デイサービスセンターの閉鎖に伴う三世代交流センター管理代行負担金の増額、厚生労働省の生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用して行う生活保護システムの改修、令和3年度及び令和4年度国庫補助金等の事業費の確定などに伴う返還を行うための補正です。	原案可決
議案第2号	令和5年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第1号） 介護給付費等に係る国庫支出金等の精算による償還金の増額を行うための補正です。	原案可決
議案第3号	滝川市印鑑登録及び証明に関する条例及び滝川市手数料条例の一部を改正する条例 個人番号カードを利用したコンビニエンスストア等での証明書の交付及び窓口にて印鑑登録者が個人番号カードで印鑑登録証明書の交付申請ができるようにするための改正です。	原案可決
議案第4号	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決
議案第5号	ロングメドー町との姉妹都市提携について 米国マサチューセッツ州ロングメドー町との姉妹都市提携	原案可決
議案第6号	決算審査特別委員会の設置について	原案可決
認定1～7号	令和4年度滝川市各会計決算	認 定
意見書案1号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	原案可決
意見書案2号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた要望意見書	原案可決
意見書案3号	学校給食の無償化を求める要望意見書	原案可決
意見書案4号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書	原案可決
要望書案1	北海道滝川高等学校及び北海道滝川工業高等学校における冷房設備の整備に関する要望書	原案可決

令和5年第4回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和5年度滝川市一般会計補正予算（第5号） スマイルビルの取得、北海道市町村振興協会の地域づくりセミナー開催支援金及び市町村職員まちづくり研修会開催支援金を受けて行う講演会等の開催、市民プール運営事業補助金を交付するための補正です。	原案可決

令和5年第5回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	工事請負契約の締結について 滝川市営住宅開西団地建替第一期工事に係る工事請負契約の締結	原案可決
議案第2号	財産の取得について 滝川駅周辺地区における都市機能の整備拠点としての不動産の購入	原案可決

💡 なるほど、そうなんだ 💡

用語を理解して議会をもっと身近に！

■二元代表制（P 2）

市議会議員と市長の両方を市民が直接選挙で選ぶ制度のことをいいます。

二元代表制では、共に住民を代表する長と議会が対等の立場で、互いにけん制しながら、まちづくりの方向性を決めます。

■移動投票所（P 3）

主にバスやワゴン車などに投票箱や記載台を設置して商業施設や学校、公民館などを巡回する投票所のことです。

■サーマルリサイクル（P 4）

廃棄物を燃やすときに発生する「熱エネルギー」を回収して利用するリサイクル方法のことです。

■ガバメントクラウドファンディング（P 4）

自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄付金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄付を募る仕組みです。

気軽に！手軽に！

ネット中継!!



滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。



たきかわ市議会
ホームページQR



傍聴してみませんか

令和5年第4回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。



日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1 本会議	2
3	4	5	6	7 本会議 一般質問	8 本会議 一般質問	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

厳しい夏もようやく終わり、我が家のうさぎも換毛期を迎え、季節の変化を感じる日々を過ごしています。自然のリズムは感慨深いものです。

早いもので議員となり約5か月が過ぎ、新しい経験やつながりを得て、市議会議員の役割や市民の声を行政へ届ける一般質問の重要性を学びました。初めての一般質問は非常に緊張感がありました。何事も経験を積むのは重要であると感じました。

市議会だよりという手段を通じて、私たち議員の考えや活動内容、努力を市民の皆様に伝えていくことは大切だと強く感じています。多くの方に読んでいただき、議会や議員の活動に対する理解や関心を深めていただきたいと願いながら、編集作業に取り組んでいます。

たきかわ市議会だより編集委員会
副委員長 藤田 哲也

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信